# 長崎倶楽部 No.31

2006.8.1

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-10-2-412 ☎03(5366)4888 発行人／田崎俊作 編集人／岩波智代子


目次


- 巻頭インタビュー㉒／隈 研吾 …… 1
- 賛助会員紹介 …… 5
- 長崎県人クラブ創立35周年記念 …… 6
- 講演録／井上 靖・伝統工芸家 …… 8
- ふるさと遠めがね …… 10
- 長崎ニュースダイジェスト …… 12
- エッセイ／私と長崎 …… 14
- TOPICS …… 16
- 新刊紹介 …… 19
- 新入会員自己紹介 …… 20


題字・吉田佳広



巻頭インタビュー㉒

私と長崎

# 隈 研吾

（建築家）

**長崎県美術館を設計した気鋭の建築家は、大村藩家老職を先祖にもち、長崎とは縁が深い。**

長崎県立美術館はなかなか評判がいい。設計した建築家の隈研吾氏は、この建物によって数々の建築関係の賞を受賞している。前号では県人クラブでの講演会記録を掲載したので、話がやや重複するかもしれないが、談話での内容にはまた独特の味がある。東京は青山の隈氏の事務所で話を聞いた。

都心とは思えない静かな環境の中に立つオフィスビルは、いかにも隈氏設計と思わせるガラス張りの空間が気持ちいい。そこで約一時間、話を聞いた。

（編集：岩波智代子、取材・文：堀憲昭、写真：宅島正二）

◆ ◆ ◆

## 運河を設計に生かした

――長崎県立美術館の評判がいいですね。あの建物は構想から

隈研吾氏プロフィール

一九五四年 横浜生まれ
一九七九年 東京大学建築学科大学院修了
一九八五～一九八六年 コロンビア大学建築・都市計画学科客員研究員
一九九〇年 空間研究所設立
一九九九年 隈研吾建築都市設計事務所主宰
二〇〇一年 慶應義塾大学理工学部教授

受賞

一九九七年 日本建築学会賞「森舞台／登米町伝統芸能伝承館」
一九九九年 ボストン・ソサエティ・オブ・アーキテクツ・アンビルト・アーキテクチャー・デザイン・アワード受賞
二〇〇一年 インターナショナル・ストーン・アーキテクチャー・アワード「石の美術館」
二〇〇二年 スピリット・オブ・ネイチャー国際木の建築賞

# 美術館は絵を見る目的のほか、ぶらぶら歩く楽しみ方もあると思い、設計に生かしました。





らどのくらいで完成したのでしょう。

隈（◆） 工期が二年で、設計が一年で、その前コンペだから合計四年でしょうか。

―― コンペはかなり厳しかったですか。

◆ 厳しかったですね。二段階になっていて、最初オープンで始まって、その中から何社かが選ばれて、最終審査で審査員に審査してもらうというものでした。大変なコンペでしたね。

―― 選ばれた決め手は？

◆ 決め手はね、あの場所に合っているということじゃないかと思います。真ん中に運河があって、うちの案は、その運河を大事にしようという案だったので、その特徴が評価されたのではないかと思います。

―― 石を表面に張るという発想は斬新な感じですが、あのような作品は多いのでしょうか。

◆ 外装材を浮かして壁から離して格子状に張るというのはぼくのモチーフの中に多いです。これまでは格子に木を使うことが多かった。直射日光をさえぎって影をおとしていくというものです。なにか日本の伝統的なものを思わせるというのはぼくのデザインの特徴です。長崎はそれをはじめて石でやってみたというものです。

―― 二年の工期の中には突破しなければいけない難問があったと思いますが。

◆ たくさんありましたね。新しいことにトライしたものですから。石を浮かして張る方法も初めてでしたので、万が一割れたときに落ちないようにするとか。世界ではじめての方法なので、あのディテールが決まったときはホッとしました（笑）。

―― 水辺の森公園の中の建物ということを意識されましたか。

◆ 公園の緑が美術館の屋上までつながっているということ、丘の緑がそのまま屋上につながっていくというふうにしました。美術館は美術を見るのが大きな目的ですが、ブラブラするというのも楽しみ方のひとつだと思います。そういうブラブラする空間があって、運河の水を見ながら雨の日も濡れないで、夏は直射日光をさけられるような空間を水際につくろうという考えでした。

―― あの作品でいろんな賞を受賞されましたが、どんな賞を？

◆ いちばん大きな賞はイタリアの「マーブル・アーキテクチュア・アウォード」という石の建築に対して与えられる賞です。日本ではめったにもらっていない賞です。２００５年度のグッドデザイン賞も受賞しました。

◆◆◆――――

## 長崎の仕事は集大成

―― 隈さんの作品はキューブ系のデザインが多いようにお見受けしますが。

◆そうですね。多いほうですね。

―― ひとつのデザインに行き着くまでの過程はどういうことになるのでしょうか。

◆ 事務所を始めた80年代の終りごろは、いわゆるバブルの時代で、いろんな仕事がたくさんありました。90年代に入ってバブルがはじけると東京の仕事がなくて、地方の小さなプロジェクトが多くなりました。そこで、いろんな職人さんに出会って、いままで使ったことのない材料に行き会ったりしました。全国で自然素材を使った建物のよさに気づいて、まわりの自然環境と一体となった建築をつくろうと思うようになりました。90年代はそんな10年間でしたが、２０００年代に入るとまた東京の仕事が増えてきました。そんなとき長崎の仕事がきました。ま、長崎の仕事はひとつの集大成でした。自然のやわらかい素材、あそこでいえば石です。内部は木をたくさん使いました。美術館で木をあそこまで多く使ったところはないでしょう。

―― 代表的な作品といえば、どんな建築でしょうか。

◆ 木の作品で代表的なものは馬頭町（栃木県）の美術館です。２０００年の作品です。それと那須の石の美術館。これもイタリアから賞をもらいました。馬頭町のほうもフィンランドから木の建築賞をもらいました。これも日本では初めての賞でした。その記念にフィンランドにいき、いろいろ刺激をうけて帰りました。その記念にフィンランドの町に木のバス停を造りました。その町は受賞した人たちに記念に小さな建築物を作らせて、町全体を博物館みたいにしようという考えのところです。ぼくはバス停をつくりましたが、前年にはレンゾ・ピアノという建築家はカフェを作っていました。

―― フィンランドのどの辺にある何という町でしょうか。

◆ ラハティーという町でヘルシンキから北に2時間くらいいったところです。

―― ほかに代表的な建築物といえばどこでしょうか。

◆ あとは表参道の角にあるルイ・ヴィトン・ジャパン日本本社で、木をふんだんに使ったオフィスビルです。東京で木を使ったオフィスビルは珍しいと思います。ルイ・ヴィトン本部はフランスですが、フランス人たちが自然素材のよさをわかってくれました。カラマツをつかっています。

◆◆◆――――

## 本籍は大村、墓は本経寺

―― 長崎の話題にかえたいのですが。隈さんのご先祖は長崎と縁が深いとか。

◆ そうですね。ぼくの家の墓は大村の本経寺というところにあるので、本籍も大村の久原郷

というところにありました。親父は十年前になくなったのですが、その父は自分のルーツが長崎で、家老をやっていたというのがすごい誇りで、しょっちゅう長崎の話をしていました。隈家の話はよく聞かされました。

―― お父さんはどんなお仕事でしたか。

◆ 父は三菱金属という会社の事務屋なんですが、デザインのことが好きで、鉱山に勤めているころ、その工場で自分がデザインしてつくった照明器具を家で使ったりしていました。その影響でぼくも子どものころからデザインには興味をもっていました。

―― お父さんは大村ご出身ですか。



◆ そうなんですが、両親が早くなくなったので、十歳のときから東京の親戚に預けられて、育っていますから、日本橋育ちです。でも、言葉は長崎弁でした（笑）。

―― そんなお父さんの影響で木とか竹などの自然素材が好きになったのでは（笑）。

◆ さあー、どうでしょうか（笑）。ぼくは生まれが横浜ですが、子どものころから大村の親戚の家にいったりして、都会と田舎の両方のいいところがわかってきたことはありますね。とくに、田園風景への憧れみたいなものはすごくありました。夏休みに田舎の親戚のうちに行くと、気持ちが晴れ晴れして、帰りたくないな、という感じがありました。

―― 大村の記憶はいつごろから残っていますか。

◆ 小学校かな。わりと長い期間過ごすことが多かったんですが、緊張感が解けて開放感がありましたね。

―― 長崎に対する特別の意識というのは、隈さんの中ではありますか。

◆ そうですね。長崎というのは自分の中では特別の場所だなっていう部分はありますね。東洋的なものと西洋的なものが出会った場所ということでは。日本が世界の中におかれている場所というのは、長崎が先取りしていたのではないかと思います。

◆◆◆ ――――

## 町づくりの勝ち組、負け組

―― 最近の長崎をそういう目線でご覧になって、どういう印象をお持ちですか。

◆ 最近すごく面白くなってきてるな、っていう印象がありますね。美術館のあるあの場所なんか、むかしは行くような場所ではなかったところですよね。ああいう海と陸との接点になる出島の近くに、文化交流の町ができて、ほんとうにむかしの長崎が帰ってきたのではないかという気がしましたね。

―― 長崎は歴史があって観光資源がたくさんあるのに観光客が減っているという危機感が、とくに行政側にありますが、隈さんにはそういう相談はありますか。

◆ しょっちゅうありますよ。たとえば、雲仙の観光客が減っているのはどうしたらいいかと、雲仙に二回行きましたよ。ぼくは世界中のリゾートにいっているから、どういうところが客がきているか教えてくれって。旅館やホテルの女将さんや経営者たちとお酒飲みながら語り合いました。

―― そういうときは、どういう話をなさるのですか。

◆ ヨーロッパでは都市の競争の時代ですから、こういう町は負けたという話をするんです。そのときに建築デザインが勝ち負けに大きく影響するわけですよ。建築の視点からみた町の勢いの話とか、ソフトと建築の関係についての話をさせていただくんです。

―― 具体的にはどういう町の話になるんですか。

◆ 「文化の首都」というプロジェクトがあるんです。EUが行っているCapital of cultureという企画です。いま面白そうな町が「文化の首都」に選ばれる。最近ではイタリアのジェノヴァとかベルギーのブリュージュとか、フランスのリールとかが選ばれています。そのようなところでシンポジウムがあったりして、そのときどういう部分で町を活性化させているかということを見ているわけですよ。

―― なるほど。

◆ もう大きな箱物を作っても町の活性化にはならないというのが一致していて、いまある街の資産を見直して、それをネットワークにつないでいくとか。たとえば、古い建物で使われていないものを若い人たちにまかせて変えていくとか。するとギャラリーになったり、音楽ホールになったりする。そんなスポットをいくつか作ってネットワーク化して観光してもらおうというものです。これが主流になっていて、そのときにアーティストと若者を入れるんです。すると、みな競争して、よし、おれに任せておけ、というようにエネルギーをうまく町づくりに生かしています。

―― そうですか。

◆ 日本はまだまだアーティストの使い方がヘタですね。長崎の美術館だって、むかしのアーティストの作品を飾るんではなくて、もっと若いアーティストがあそこでなんかやったりするといい。そういう若いエネルギーが町の中に発散されると、町を訪ねる人が増えると思います。ヨーロッパは町が古いけれど、若いエネルギーの使い方がはるかに優れています。

―― 町の勝ち負けという発想は面白いんですが、そこを詳しく。

◆ ひとことでいえば文化発信の力があるかないかということです。たえず新しい情報を発信できるかどうかで決まります。たえず新しい情報を発信しているとと、あ、この町は面白いね、という印象を持ってもらえる。

## 若い人の力を引き出すコツは、彼らに仕事を任せてしまうこと。長崎にはそれが足りない。





◆◆◆

### 若者に任せる大人の度量

――日本の町でそういうところはありますか。

◆いま博多なんか元気があるといわれていますが、外国人のアーティストの間では岡山の直島（なおしま）です。ここはベネッセが街づくりをしていて、アーティストの作品を町作りに生かして話題になっています。ボロボロだった民家をアーティストに改装させて、人が集まる施設をつくっている。ちっちゃな島なんですが、ヨーロッパにいくと、直島という名前を出す人が多いんですよ。

――隈さんご自身は直島とはかかわりがあるんですか。

◆ひとつあります。ボロボロの民家を改装して面白くしてくれ、といわれて、慶応大学の学生をつかって昨年の夏に張り付かせてやったんですが、ひと夏では終わりませんでした（笑）。結局、冬までかかってやっと終わりました。三十年間捨てられていた民家を生まれ変わらせました。学生は、自分の家では掃除もろくにしなかっただろうに、直島みたいなところでは、骨身惜しまず働いて立派な仕事をしてくれました。そういう若い力の潜在能力を町づくりに利用しない手はないと思います。

――そういう視点で大村とか長崎をご覧になって足りないものはなんでしょうか。

◆やはり若い力の活用ですね。それは、年寄りが仕事を独占しすぎるということではなくて、世代を超えた連携みたいな構造が遅れているということです。年長者は経験を生かして、若者の力をうまく引き出すといい。若い人たちが町にいないわけではないのですが、買い物しているだけ（笑）。買い物して飯食って、酒飲んでるだけではなくて、もっとクリエイティヴなことをやれよ、といいたいですね。よく「若い者はやる気がない」とかいいますが、きっかけさえ与えれば若者は力を発揮します。

――これまで長崎でお仕事されて、長崎で注目に値する人物に出会いましたか。

◆何人かは面白い人がいましたよ。

――隈さんは大学では授業をお持ちですが、若い人たちの力を引き出すコツはなんでしょうか。

◆彼らにドンドン任せてしまうことですね。任せちゃえば、やる気をだして、いい仕事をします。任せるプロジェクトを行政がドンドン仕掛けていくことですね。別にお金がなくても企画力さえあれば、岡山の直島みたいに若い力を引き出すプロジェクトを立ち上げることは可能です。

――長崎には古い保存建造物がたくさんありますが、長崎市が管理しているものはほとんど活用とはほど遠い。

◆日本では歴史が浅いせいで、保存となると、急にまじめになってしまいますね。よく石造りなら保存しやすいけれど、日本のような木の建物は保存しにくいといいますが、岡山の直島はまさにその発想への挑戦ですよ。ヨーロッパのクリエイターたちは、古い木の建物に入ることがすごいカルチャーショックなんですよ。日本ではぜったいヨーロッパではできないことができるわけですから、それをドンドンやるべきですね。

◆◆◆

### 建築家が光った東京五輪

――隈さんご自身のことを、もうすこしうかがいたいのですが。横浜生まれということはさきほどお聞きしましたが、高校、大学はどちらですか。

◆高校は横浜の栄光学園で、大学は東京大学で大学院まで行きました。ニューヨークのコロンビア大学に一年間留学しました。

――子どものころから建築を目指していたのでしょうか。

◆小学校のころですね。ちょうど五年生のころ、東京オリンピックが開かれて体育館などの華やかな建築がつぎつぎに建てられている様子を見て、「こんなかっこいい建築ができるんだ」というわけで、憬れたのがきっかけですね。そのころから建築


油脂業界を通して社会に貢献する
森油化商事株式会社
代表取締役社長　森　一人（大村出身）
動物植物油脂
油脂製品全般
油脂関連製品
オイルエコロジーサービス
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-1 TEL 03-3295-1101(代) FAX 03-3295-1149
長崎県立大村高校同窓会東京支部事務局

# 賛助会員紹介（順不同）

## 諫早市東京事務所

### 諫早市の概要

平成十七年三月一日、長崎県の諫早市、多良見町、森山町、飯盛町、高来町、小長井町、一市五町が合併し、人口約十四万五千人の新しい「諫早市」が誕生しました。

本市は、特性の異なる諫早湾、橘湾、大村湾の三つ海に面するという全国的にも珍しい位置にあり、山麓、丘陵、干拓平野、大小河川を有する豊かで多様な自然環境に恵まれ、県内交通の要衝であることから、古くから営まれてきた農林水産業のほか、商工業が発展しており、県内で数少ない人口増加都市でもあります。新市の都市像を「ひとが輝く創造都市諫早」と定め、その実現のため、各種住民サービスをはじめ計画、事務事業が順調にスタートしたところです。

### 諫早修習館

本市の発展に寄与する優秀な人材を育成するため、昭和三十一年に文京区目白台に諫早市東京学生寮として誕生しました。

その後、昭和五十一年に鉄筋コンクリートに改築し、平成四年に全面改修して、現在の諫早修習館として、学生の部屋数二十六室「うち七室女子」二十六名が東京及び周辺の大学等で、学習に励む郷土出身学生の利便性を図るため設置されました。

また、受験生が東京の大学等を受験する時や市民等が研修、視察をする場合など安価で利用できる宿泊施設として、五室「収容人員十名」を併設し、年間延三百名前後に利用されています。

### 東京事務所

昭和四十九年、学生寮に東京事務所を併設以来、本市重点施策実現のため中央省庁及び県選出国会議員はじめ、関係方々へ積極的な渉外活動を行なっています。

諸官庁や国会議員方々との連絡事務、折衝等の円滑化、情報の早期入手、発信など要望活動の推進、県東京事務所・県内各市東京事務所との情報交換や職員間での連絡調整を密にし、市政の効果的な運営を行なう



諫早市東京事務所及び諫早修習館

諫早市東京事務所
〒一一二―〇〇一五
東京都文京区目白台一―四―一五
電　話　〇三―三九四七―三二九六
ＦＡＸ　〇三―五三九五―七一七五
e-mail　tokyo_ofc@city.isahaya.nagasaki.jp

## 長崎国際テレビ東京支社

『ビー♪　ビー♪　ビー♪　ＮＩＢ!!』（～ブン　ブン　ブン　蜂が飛ぶ～）でお馴染みの㈱長崎国際テレビ（略称ＮＩＢ）は、１９９１年（平成3年）４月１日に長崎地区第４局として開局しました。

開局年は、「湾岸戦争での多国籍軍がイラク空爆」、県内では「雲仙・普賢岳で大規模火砕流」が発生した年でした。

弊社は、日本テレビ系列のネット局としてバラエティーに富んだ番組を放送しています。

朝の情報番組「ズームイン!!ＳＵＰＥＲ」、お昼の情報番組「おもいっきりテレビ」や家族揃って楽しんでいる「行列のできる法律相談所」などでご好評をいただいています。

また、毎週土曜のお昼に放送している自社制作番組「ひるじげドン」では、「あの街この町」「ひるじげ調査団」「なにがさき犬ちゃんの部屋」などユニークなコーナー満載で楽しく魅力いっぱいに長崎の最新情報を発信しています。

スポーツでは、「少年サッカー」・「高校サッカー」、五島市で開催されるトライアスロン国際大会「アイアンマンジャパン」や「島原雲仙学生駅伝大会」を制作し放送しています。

さらに、「長崎県民の文化の向上に役立つ」との企業理念のもと、事業にも積極的に取り組み日蘭交流４００周年記念事業として木の実ナナさん主演の音楽劇「出島」を開催しました。

昨年には、開局15周年記念事業として人気グループＥＬＴさんが浦上天主堂で無料コンサートを開催。今年は、モーツァルト生誕２５０周年「ベストクラシック１００コンサート」などを開催予定しています。

さて、東京支社は総勢12名で、主に編成（どんな番組を放送するか）と営業（ＣＭ枠の販売）を中心に、銀座にて頑張っております。

今後の大きな課題として本年の12月１日より「地上デジタル放送」を開始します。

①電子番組ガイド ②高画質 ③高音質 ④ワンセグ・データ放送などテレビ視聴のあり方が大きく変化するスタート年になります。

今年開局15周年を迎えた長崎国際テレビは、「ガツンと!!ＮＩＢ」を合言葉にハツラツと元気に全社員一丸となって前へ前へと進んで行きます!!

何卒ご支援の程宜しくお願いします。

㈱長崎国際テレビ東京支社
〒一〇四―〇〇六一
東京都中央区銀座一―三―一
銀座富士屋ビル三階
電　話　〇三―三五六三―二七二五
ＦＡＸ　〇三―三五六三―二〇二五
HomePage：www.nib.jp

# 創立三十五周年

## 親睦の輪を広げ、更なる会の発展を

### ―クラブ創立三十五周年にあたって―

田崎　俊作

暑い日が続いておりますが、皆様にはお元気にてお過ごしのことと存じます。

昭和四十六年（一九七一年）、東京・銀座に、その前年にできた長崎放送ビルの一画を提供していただいて設けられた「長崎関係者のサロン」が、当「長崎県人クラブ」の始まりでございまして、今年で三十五周年を迎えます。

当時、財界で活躍しておられた大先輩の今里広記氏（日本精工社長）が中心となって会員を募り、規約なども制定されて、昭和四九年（一九七四）、正式に「長崎県人クラブ」が発足いたしました。

ご存知のとおり、初代理事長に今里広記氏が就任されて会の基礎づくりと発展に偉大なるご功績を残されたあと、二代目理事長・宮崎輝氏（旭化成社長）、三代目理事長・清水教雄氏（全日空副社長）と引き継がれ、平成六年（一九九四）、小職が第四代目理事長に推されて、現在まで微力ながらクラブのお世話をさせていただいている次第であります。

現在会員数は約三〇〇名。会員相互の親睦と協力を図るため積極的な活動が行われています。役員（理事）の皆さんが熱心にクラブの専門部会業務を分担され、また事務局のご努力によって、①新年賀詞交歓会、②納涼親睦会、③講演会（年二回）、④機関誌「長崎倶楽部」の発行（年二回）、⑤同窓会の集いの世話や蔵書の管理など広範な活動が行われております。

平成十四年（二〇〇二）には、事務局を現在地（新宿区四谷）に移転いたしました。（当クラブホームページでも詳しく紹介していますので是非ご覧ください。）

長崎県では、さきに、長期総合計画「ながさき夢・元気づくりプラン」が議会で決議され、金子知事を中心に「交流とにぎわい、長崎の郷土づくり」の実現に邁進されています。

当クラブといたしましても、ふるさとの長崎県や市町村・企業などとの連絡・連携にも力を注ぎ、交流を図っておりますが、今後とも会員の積極的な活動を通じて、「ふるさと長崎」の発展に寄与してまいりたいと存じます。

関係各位のご理解とご支援をお願いいたしまして、クラブ創立三十五周年のご挨拶といたします。

## クラブ創立三十五周年記念

## 「長崎県人クラブに望む」

長崎県立松浦高等学校同窓会関東支部　会長　白石　栄治

創立三十五周年、まことにおめでとうございます。

五月の連休に久しぶりに帰省、長崎市内の観光地を訪れましたが、「長崎さるく博06」が開催されていました。近年、観光客の減少が叫ばれているなか、観光客も多く、市民と一体の盛り上がりを感じました。

また、松浦の「鯵」を使った料理が健康に良いとのテレビ番組が放送されるなど、いろんな形で郷里の地名が全国的に知られることは、非常に嬉しいものです。

さて、私達同窓会の関東支部は、設立後七年目を迎える小さな組織ですが、会員増強のため、奮闘しているところです。ときおり、県人クラブの事務所を利用させていただく機会もあり、訪問するたびに郷土の最新情報に接し、私達の郷土が身近に感じることが出来ます。是非、将来的に、もっと自由に利用でき、いつでも交流ができるような広い施設になることを期待しております。

最後になりましたが、長崎県人クラブの益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念しております。

### 平戸高校同窓会東京首都圏支部　加藤　澄敏

県人クラブの会員になって十年位かと思いますが、次のような面でお世話になっています。

① 平戸高校同窓会支部の会議に県人クラブの会議室をお借りしています。会場費の免除で大変助かっています。

② 県人クラブ主催の「新年賀詞交歓会」に知人と参加させてもらっています。楽しいイベントや福引の内容は「さすが県人クラブ」と思っています。

③ 県人クラブ主催の「在京県下高校同窓会交流会」に出席しています。各同窓会の工夫や努力の情報交換が有意義です。

④ クラブの「総会」にはほとんど出席していません。

以上のように、クラブ主催の行事にたまに顔を出す程度ですので「クラブに望む」ことはあまり思い当たりません。今後ともよろしくお願い致します。

# 長崎県人クラブ

長崎倶楽部

## 長崎西高在京同窓会顧問　男澤　浩一

長崎県人クラブ発足三十五周年、誠におめでとうございます。長崎県人クラブは、新春には「賀詞交歓会」、夏は「納涼会」、秋には「在京県下高校同窓会代表者の集い」などの定例会合に加え、各種講演会を随時主催されるなど、在京県人の交流にひとかたならぬご尽力を果たして来られました。加えて、年二回発行される機関誌「長崎倶楽部」は大変内容が格調高く、毎回発行されるのを鶴首しております。

このように充実した県人クラブ運営の蔭には、役員諸先輩方の並々ならぬご苦労があっての賜物と拝察申し上げております。

文明が発達し東京・長崎間の時間は短縮されましたが、距離そのものが縮まったわけではありません。この距離を埋める役割を果してくれているのが、この長崎県人クラブだと考えております。事務局を永年に亘り守ってこられた鐘ヶ江さん！これからもお世話になります、よろしくネ。

## 長商同窓会東京支部支部長　福本　吉郎

創立三十五周年を迎え、まことに慶賀に存じ、お祝い申し上げます。

長崎県人クラブとは――東京砂漠の〝オアシス〟と解く。東京に生活する長崎県人として、ひとりひとりは無力なものであり、如何に己の存在が些細なものであるか。

ひとそれぞれ社会環境を体験し認識され、荒涼たる東京砂漠の一隅に、緑豊かな〝オアシス〟を求め、自己が「クラブ」に昇華する。

真の「クラブ」人は、気概を持ちつつ、どこかゆとりがあって、オシャレな楽しむサロンを、欲しています。

その美しきサロン――環境――口
人が手足を伸ばした相　――大
心より成るもの　――心
を合体させると「恩」という字になります。

何のおかげでこのように大きく存在しているかと思う心が、恩を知ること。

天地（長崎）の恩、人間（良き師・良き友）の恩、道の恩、教えの恩など、あらゆる「恩」の中に、私は生育している。これに絶えず報いてゆく「対心一処」の精神で、郷土への徳業にできればと、一クラブ活動員として、発奮努力を誓うものであります。

## 長崎東高在京同窓会会長　田平　和彦

在京同窓会の活動拠点として、県人クラブの存在意義は大きいと思います。定例の幹事会を開いたり、クラブ活動の打ち合わせをやる時にも拠点として活用させて頂いてます。更に望むとすれば、県人クラブが入っている長崎県東京産業支援センタービルの出入りをもっとやりやすくして頂きたい。所定の手続を経れば、土・日・祝・祭日でも使えるよう、お願い出来ないものでしょうか。そうすれば、在京同窓会活動にとって県人クラブは、欠かせないものになると思います。

## 写真家　宅島　正二

創立三十五周年おめでとうございます。私は長崎県人クラブに入会して、約二十年なります。

一九九五年から広報誌がカラーになり、編集長が堀憲昭氏、クラブの皆様がより読みやすい、また親しみやすい、広報誌を制作するために、長崎県出身者で各界で活躍されている、人々を取材して行こうとなり、顔の写真を撮り続けてきました。発行された広報誌の中で約九〇％、今回を含めて、十八名の人を撮影しました。

堀さんのうまいインタビューに著名な人も、笑顔がでてきます。私はシャッターを切り続ければいい状況でした。

著名な人も郷里の話になると、熱く語られ、遠い昔を思い出されて、お顔が緩やかで素晴らしい、表情になります。

業界の情報などを、写真を撮影して得る事ができ、写真家名利であります。

県人クラブの銀座時代は先輩からよく呑みにつれていってもらい望郷の思いを聞きました。私も後輩の世話をしなければと思っていますが、若い人の入会が少ない、若い人が多く入会する魅力ある会にしなければと思っています。

講演録

# 長崎ハタ物語

（平成十八年三月六日（月）午後六時三〇分から長崎県人クラブにて）



井上　靖
伝統工芸家

私は井上靖と申しまして有名な小説家と同姓同名です。生まれは、長崎市大井手町のハタ（羽太）屋井上喜太郎の四男で長崎東高出身でございます。

この度、家業のハタに関して父から教わりましたことや、資料（原爆でほとんど吹き飛びました）を何とか掻き集めて「長崎ハタ物語」という本を先祖の名前「宗匠」をもらって書きましたので話をさせていただきます。

まず、長崎のハタということになりますと、凧（タコ）という字を書きますが、ハタとタコは違いますね。凧という字はハタとは読みません。ハタと凧との違いを一覧表にしてありますので、ご覧ください。

長崎のハタは一六〇〇年ぐらいから揚げられていまして、長崎出島のオランダ人の従者として来ていたインドネシア人たちが「果し合いのハタ」として伝えたものであろうといわれています。

ハタの材料としては、竹、和紙ですね。それから、周囲を張りめぐらす張糸の木綿の糸、「中くくり」という中くくりのところにとめる糸、糊、それに凧の場合は、下に尾っぽを長くしますが、ハタの場合は、飛尾と書きまして「ヒュウ」と読みますイヤリングのように飾りを入れて耳飾りというものでハタの内容とバランスを出しているわけです。

ハタを揚げるということは、要するにビードロで切りあいをするということです。ヨマ（ハタを揚げるための糸のことで原料は麻）にビードロ（硝子を粉末にして米糊に混ぜたもの）を塗って相手のハタを切り落とす果し合いをいいます。



そこで、竹ですが三百五十種類あるという竹の中で真竹の五～十年たったものを使い、長さ十～二十メートルぐらいの竹を寸法に合わせて切っていきます。

縦骨と横骨、つまり縦骨は、昔の寛永通宝の一文銭（二十三ミリ）をもとにして何文バタと文数で料金をあらわして昔の名残を表現しているわけです。

切った竹は大きな水槽に約三ヶ月入れてアクを抜き、それを削って寸法に合わせて縦骨、横骨を作るわけです。縦骨より二割ぐらい長いのが横骨で、それを弓のように曲げて菱形のものを作ります。といいますのは、ハタを揚げて、風に向かって上に突き進むにはひし形のハタじゃないとうまく風に向かって揚がらないわけで、そういうものが自然に長崎のハタがほかの凧と比べて違ってきているようです。

竹骨ができましたら寸法に合わせて枠組みを作ります。まず、縦と横の「中くくり」を作って張糸で周囲を引っ張ります。それをテーブルに置き、骨が安定するように、真平になるように調整してゆきます。

次には和紙になるわけですが、和紙は、八女市に注文して漉かせ、木々の色と合致する緑は使わず、赤、青、黄、と空に揚げて見やすい色が基本となります。長崎のハタの図柄に関しては、三百五十種類ぐらいの紋様があります。一年ぐらい前から自分の揚げたい紋様をハタ屋に注文し、ビードロ、ヨマを準備します。紋様作りは、糊で紙を重ね合わせると重くなるので、重くならないように継ぎ張りをします。それで色んな紋様を作っていきますが、これも職人というのはすごいもので、あっという間に安定させます。先祖から、誰がどのハタの紋様を受け継ぐかということで、私は井上ですので、赤の井桁を受け継いでいるわけです。青の井桁だとか、これにコウモリ、月などを入れて先祖に対してなされた家紋もあります。

ハタには糊が必要ですが、普通の糊の練り方ではダメで、沸騰する前には必ず火を止めます。沸騰

**ハタと凧との相違点**

| 名　称 | ハタ（羽太） | タコ（凧） |
|---|---|---|
| 伝来（発生） | 鳥の羽、和紙 | 布、きれ |
| 寸法の由来 | 寛永通宝の文数を並べた数 | 障子の形から |
| 形 | 菱形 | 長方形 |
| 骨　組　み | 縦・横骨の２本のみ | 縦３本、横４本以上 |
| 紋　　様 | 和紙を切り抜く | 和紙に画く |
| 房 | ヒュウを左右２本 | 尾ひれをつける |
| 伝わり方 | 長崎ノボリ | いかのぼり |
| ハリヨマ | ハリヨマあり | ハリヨマなし |
| ヨマツケ | 上下２本 | 数本のヨマツケ |
| 揚　げ　方 | １人 | 数人以上 |
| 勝負合戦 | 個人と個人。個人プレー | 勝負しない。団体競技 |

井上　靖（宗匠）プロフィール
長崎市大井手町　井上喜太郎「ハタ屋の四男」として昭和10年8月25日生まれ。
長崎東高等学校6回生。
長崎大学（瓊林会会員）、長崎外国語短期大学部、池の坊御茶の水学院、東京ＹＭＣＡ国際ホテル学校卒業。
大成観光㈱、ホテルオークラ、日本航空開発㈱、リッチモンドホテル㈱（副総支配人）等勤務。
（財）生涯学習開発財団、日本凧の会等の会員、紙縒伝統工芸家
著書　「こより伝統工芸への招待」「長崎ハタ物語」（先祖より宗匠の号を引継ぐ）

して練った糊はハタにしわができるので、しわをつけないためには糊が一番大事です。

そこでハタを揚げるということになりますが、前日からハタを用意をし、家の人も手伝って、付けヨマをつけるわけですが、付けヨマを短くすると、ブレルといいますか、イヤイヤをするわけです。したがって、ハタの親骨の1.5倍から2倍ぐらいの長さで、上の付けヨマと下の付けヨマをつけるわけです。ところが、下の付けヨマは上の付けヨマよりも少し長くします。そうしないと上に揚がらないわけです。また、手袋はハタを揚げる場合には必ず必要なんです（ビードロで怪我しないため）。

それから、そのほかには、「ツブラカシ」（揚げたハタは勝負してもよい）ということで、ハタを揚げるとけんかハタになりますので、揚げたものは全部けんかしていいことになっているのです。それでそのハタを喧嘩しやすくするためにはビードロとか付けヨマがあって、その次にネヨマ、ヨマを入れるヨマ篦を用意します。糸を懸けたり、伸ばしたりするときに篦に入れなくてはヨマが絡むわけです。

ハタやヨマの準備をして、翌朝になると、ハタを揚げるには電線等にかかって事故が起きないためにも山へ出かけます。昔は風頭（カザガシラ）、今は唐八景、稲佐山、金比羅山、新しく長崎の美術館もできました出島の先のところや大波止の海の前のスペースなどもあります。

長崎でハタ揚げをすると、大体二十種類のハタが揚がりましたが、最後には「あごバタ」という四角のハタに落ち着きました。

あごというのはトビウオのことです。ハタが懸け合うのは楽しいということで、懸け合うハタのやり方が長崎には芽生えて、今のような形になっています。

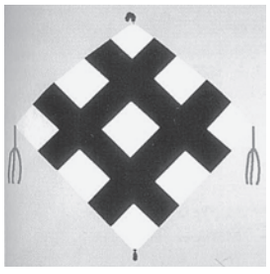
ハタは一人で揚げるもの、凧は数人で揚げないと、大きさも違いますし、揚げ方が違います。揚げる内容はハタと凧では随分違っています。

ハタを揚げる中で、色んなアイデアが生まれてきます。魚を釣るために凧を揚げる。映画にも出ましたがラブレターを凧につけて、相手の庭の先まで飛ばす。狼煙のためにハタを揚げる。長崎でオランダ船が入るとき、入ったことを知らせるため、空高くハタを揚げる。また、商品の宣伝バタなどもあります。

さて、ハタを揚げるということは、単に凧を揚げるということではないのです。世界に一つしかないハタ合戦場で揚げるハタは取りも直さず戦国時代の武士のようなもので、いざ、出陣すると命はないものと思わざるをえません。それには万全の準備が必要になります。人ともいうべきハタ、磨き抜かれた刀にあたるビードロ、切れないヨマ、根ヨマを入れる篦などを揃えることが「ツブラカシ」には万全であることになります。

ハタを自由自在に操ることが相手を負かす要因でもありますので、懸けあって相手のビードロを切るまで風に乗って根ヨマの手前で勝負がつくようにする必要があります。そのためには、ハタを上手に前後、左右に移動させたり、高空飛行、低空飛行と風の強弱に合わせて待機させたりする手法

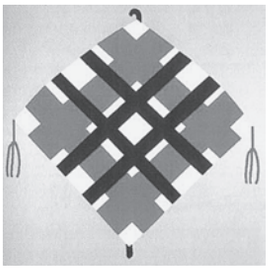
## 代々続いた井上家のハタ



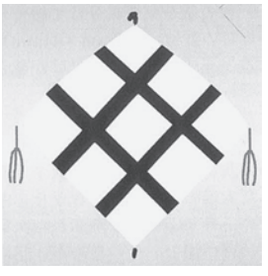
黒井桁　井上弥三治



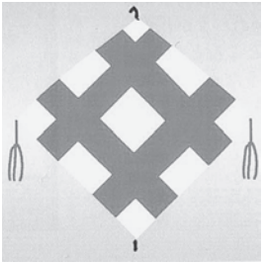
井桁に蝙蝠　井上喜三郎



親子井桁　井上浅太郎



細井桁　井上喜太郎



井桁　井上宗匠（靖）



初任者・職場管理者のための
労働基準法の本
実務に即した解説とQ&A
新任担当者、管理職の初学テキストに最適
労務行政研究所編　A５判・208頁・1,800円（税込）

税理士が教える
得する パートタイマー BOOK
収入と税金・社会保険の基礎知識
雇い入れ時や年末調整などの説明でお役に立ちます
扶養控除や配偶者控除に関する100万円,103万円,130万円の「壁」について
パートタイマーの不安や誤解をこの１冊で解消！
米津晋次著　B６判・128頁・1,000円（税込）

労務行政
〒106-0044 東京都港区東麻布１-４-２　TEL. 03-3584-1231
http://www.rosei.or.jp/corp/

# 「有明海にひらく　湧水あふれる火山と歴史の田園都市。島原」の実現に向けて

島原市地域振興課長　吉田　俊典

本年一月一日に島原市と有明町が合併し、新生「島原市」が第一歩を踏み出しましたが、本地域は、島原城・武家屋敷に代表される歴史や湧水、温泉など豊富な自然資源を有するとともに福岡、熊本方面への海上交通の要衝地でもあります。

産業におきましても、県下の農業産出額の約1割を生産する県内でも有数の農業生産地域でもあり、また、豊饒の海、有明海では海苔の養殖をはじめ、「がんば」（ふぐ）や「がね」（ガザミ）といった当地特有の魚介類が捕れるなど、農業、漁業においても大変盛んな人口約5万1千人の街です。



合併セレモニー

本年は、記憶に久しい雲仙・普賢岳噴火災害から15周年を迎えましたが、火砕流・土石流により、焦土と化した被災地にも緑が鮮やかに蘇りつつあります。

今次、災害においては、長崎県ご出身の皆様はもとより、全国各地から多くのご支援をいただきましたが、新市にありましてもこの気持ちを忘れずに、今後とも多くの方に気軽に気持ちよく訪れてもらえる、開かれた交流都市づくりを進めてまいります。

なお、本市においては、来年十一月に「火山都市国際会議島原大会」が、国内はもとよりアジアで初めて開催されます。噴火災害からの復興の総仕上げとして、また、雲仙普賢岳の噴火災害から得た教訓を国内外に発信するため、現在取り組みを進めているところです。

新生「島原市」は、将来像である「有明海にひらく　湧水あふれる火山と歴史の田園都市　島原」の実現に向け、これまでと同様に地域の特色を生かしながら、自然や文化、歴史・スポーツ、産業などの魅力を結び付けた「観光交流都市」を目指し、次代を担う子供たちが地域に誇りを持って、将来も住み続けたいと感じるような、魅力と活力にあふれるまちづくりに努めていきたいと思います。

今後とも、故郷「島原市」発展のため、在京の皆様方のご理解、ご協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げまして、新「島原市」の紹介とさせていただきます。


原城一揆まつり（4月9日）

## ふるさと遠めがね

# 南島原市紹介

南島原市総務課　野原麻由子

平成一八年三月三一日、長崎県島原半島南東部の八ヵ町（東から深江町、布津町、有家町、西有家町、北有馬町、南有馬町、口之津町、加津佐町）が合併し、島原半島で三つめの市となる、人口五万六千人の「南島原市」が誕生しました。

南島原市は、緑豊かに広がる台地、長く連なる海岸線などの美しい自然景観と、「島原の乱」終えんの地である原城跡（国指定史跡）をはじめ、たくさんの史跡や遺構、キリシタン墓碑、この地域固有のキリシタン文化などの多くの財産に恵まれています。また、温暖な気候で豊富な農水産物にも恵まれ、歴史ある手延べそうめんは全国2位の生産高を誇っています。

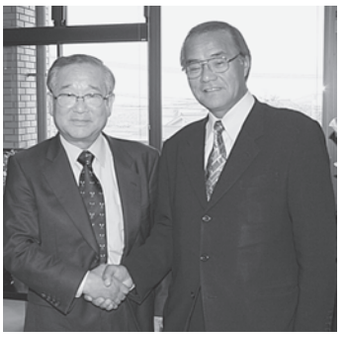
南島原市が目指すまちづくりは、基本理念である「南向きに生きよう！～緑とぬくもりのあ

金型用部品・パンチ・ピン
株式会社　スガモ技研
代表取締役　福田邦昭（平戸市大川原町出身）
〒341-0012　埼玉県三郷市半田1028-4
電　話　0489（57）4111（代）
FAX　0489（57）4123
営業品目
冷蔵鍛造パンチピン
モールド型用コアーピン
プレス型用パンチピン
プリント基板金型用パンチピン
その他

る感動創造産地・太陽と自然の恵みでひときわ輝く南島原市～」に表されるように、太陽の光と豊かな自然がもたらす恵みを活かし、これらの財産の共有や各町の個性の融合を進めます。さらに、今後は地域の活性化に向けて市内外へ地域情報を発信するなど、新たな魅力づくりや地域振興策、行財政基盤の充実・強化に取り組みます。

南島原市の初代市長となった松島世佳（まつしま・つぐよし）市長は、市民とともに考える開かれた市政を通して「活気あふれるふるさとづくり」を目指します。

「さあ、はじめよう。新しい南島原市（ふるさと）づくり」をスローガンとし、「新しいしくみ」「産業の振興」「観光の推進」「教育・文化の充実」「住みよい地域づくり」について、三三項目の「ローカルマニフェスト」政策を発表、各種政策の実現へ向けて日々努力しているところです。

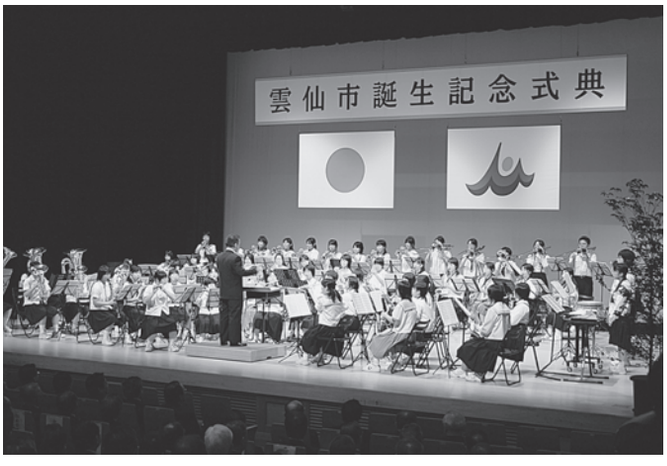


元山市長職務執行者と松島市長

# 「雲仙市」になって新たな魅力

雲仙市企画財政部企画課長　重野　淳

南島原市となった八町。私たちは今心を一つにして、新しいふるさとづくりへの一歩を踏み出したばかりです。南島原市の歴史文化・特産物などの魅力を広くアピールし、活気あふれるふるさととなるよう、長崎県人クラブの皆様におかれましても、ご声援とご理解をお願いいたしまして、南島原市の紹介とさせていただきます。




6月4日「雲仙市誕生記念式典」の中学生吹奏楽による合同演奏

昨年十月十一日に、島原半島の国見町、瑞穂町、吾妻町、愛野町、千々石町、小浜町、南串山町の七町が合併し、人口約五万人、面積二百六・八七平方キロメートルの「雲仙市」が誕生しました。

雲仙市は島原半島の北西部に位置し、雲仙山系の険しい山地と、それに連なる丘陵地、および海岸沿いに広がる平野部からなり、美しい海岸線の橘湾や有明海、普賢岳、雲仙地獄などの雄大で魅力ある自然環境を有し、日本初の国立公園である雲仙天草国立公園や島原半島県立公園に指定されています。

合併後の十一月、世界スローフード協会「味の箱舟」に、「雲仙こぶ高菜」（吾妻地区）と「エ

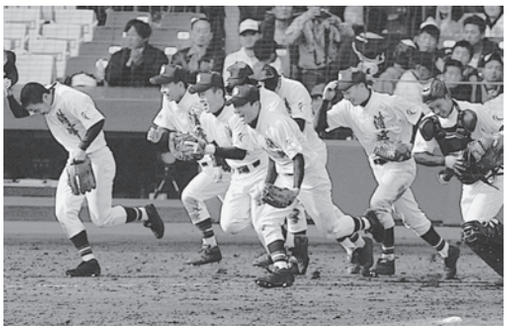
www.guenbs.com



from NAGASAKI／News Digest

# 長崎ニュース ダイジェスト

「長崎新聞」1月～6月より



## お見事、清峰ナイン

第七十八回選抜高校野球大会（春のセンバツ）で、初出場の県立清峰高校（佐々町）が長崎県勢では春、夏通じて初めて決勝戦に進出。準優勝に輝いた。

昨夏の快進撃がまだ記憶に新しい同校。センバツでは初戦の岡山東商（岡山）を十一対二で危なげなく下すと、二回戦では延長十四回の大熱戦の末、東海大相模（神奈川）に三対二で競り勝ち、準々決勝では日本文理（新潟）を四対〇とシャットアウト、ベスト4に駒を進めた。

準決勝の相手は、大会屈指の好投手を擁する甲子園の常連、ＰＬ学園（大阪）。だが、序盤の集中打で相手投手を攻略、守ってもエース有迫くんの快投で六対〇の完勝、ついに決勝の晴れ舞台に立った。

決勝では、地力に勝る横浜（神奈川）の猛打が爆発。夢の全国制覇は残念ながらお預けとなった。だが「小さな町の小さな学校」の快挙は、全国にさわやかな感動を広げた。

**（一月）**

**▼2つの新市が誕生**

島原市が旧南高有明町を編入合併した新「島原市」と旧松浦市、旧北松福島、鷹島両町が対等合併した新「松浦市」が一日発足。両新市では合併記念式典があり、新たな一歩を祝った。

**▼新「長崎市」発足**

長崎市が四日、旧西彼琴海町を編入合併。同市は昨年一月の旧西彼六町の編入に続いて市域を拡大、人口は約四十五万五千八百人に増え、二十一年ぶりに四十五万人の大台を超えた。

**▼大村でグループホーム全焼**

大村市陰平町の認知症高齢者グループホーム「やすらぎの里さくら館」で八日未明、施設を全焼する火事があり、入所者九人のうち、六人が死亡。翌日にも一人が亡くなり、七人が死亡する惨事となった。同施設は開所以来、一度も避難訓練をしていなかった。

**▼「本木蘭文」解読へ**

長崎大と長崎歴史文化博物館が、オランダ・ライデン大学と共同で、江戸時代に出島に伝わった西洋科学の書籍などを和訳して紹介した阿蘭陀通詞のうち、本木家が残したオランダ語文書「本木蘭文」の大掛かりな解読プロジェクトに着手することが十二日までに分かった。

**▼女子駅伝で三位**

第二十四回全国都道府県対抗女子駅伝大会が十五日、京都市で開かれ、長崎県チームは県勢過去最高タイムの二時間十六分四十九秒で三位入賞を果たした。長崎県チームの入賞は三年ぶり。

**▼田口健二氏が死去**

元衆院議員で民主党長崎県連顧問の田口健二氏が十八日、敗血症のため死去。七十五歳だった。衆院議員時代は安全保障委員会理事などを歴任、自社連立政権では、与党の「戦後五十年問題プロジェクトチーム」のメンバーとして被爆者援護法の成立などに力を尽くした。

**▼北京故宮博物院展が開幕**

中国清朝末期の女帝、西太后と最後の皇帝、宣統帝溥儀ゆかりの文物を展覧する「北京故宮博物院展～清朝末期の宮廷芸術と文化」が二十一日、長崎市の長崎歴史文化博物館で開幕。最終日の三月五日まで大勢の来場者でにぎわった。

**（二月）**

**▼日野江城遺構の一部を破壊**

南高北有馬町が、国指定史跡で有馬氏の居城として知られる「日野江城」を文化財保護法の定める現状変更の手続きをしないまま工事し、遺構の一部を破壊していたことが一日分かった。

**▼深堀勝一氏が死去**

長崎の被爆者運動を長くリードし、被爆者援護策の充実などに尽力した県被爆者手帳友の会会長の深堀勝一氏が二日、死去した。七十八歳だった。

**▼金子氏が知事三選**

任期満了に伴う長崎県知事選は五日、投開票が行われ、無所属で三期目を目指した現職の金子原二郎氏が、無所属新人で元インターネット関連会社役員の小久保徳子氏、新人で共産党県委員長の山下満昭氏を破り、三選を果たした。投票率は五二・二七％だった。

**▼松浦市長に友広氏**

合併に伴う新「松浦市」の市長選が五日、投開票され、無所属で旧松浦市助役の友広郁洋氏が初代市長に選ばれた。

**▼セスナ機オーバーラン**

八日午後二時四十分ごろ、壱岐空港に着陸を試みた岡山市の民間会社の軽飛行機が滑走路をオーバーランし、フェンスを突き破って空港北側の市道に転落、搭乗員二人が軽傷を負った。

**▼油症患者の救済求める**

国内最大級の食品公害「カネミ油症事件」で、県内で被害者が多い五島市の中尾郁子市長らが十五日、東京都内で与野党の国会議員らに被害者救済の支援を要望。公明党副代表の坂口力・元厚生労働相は「議員立法で救済を考えたい」などと述べた。

**▼目指せ世界遺産**

長崎、佐賀両県にまたがる肥前窯跡の保護などに取り組む「肥前の窯跡を中心とした世界遺産登録促進会」が十八日発足、波佐見町など長崎、佐賀の六市七町が加盟した。

**（三月）**

**▼対馬市助役ら逮捕**

対馬市の発注工事に絡む談合・不正入札事件で、県警と対馬南署は二日までに、同市助役の廣田貞勝容疑者ら六人を逮捕した。

**▼父親が手記を公表**

二〇〇三年七月に起きた長崎市の男児誘拐殺害事件で、被害者の男児の遺族が加害少年＝十五歳＝と両親を相手取り、長崎地裁に起こした損害賠償請求訴訟が三日、原告側の請求をすべて被告側が認める「認諾」により終了。男児の父親が手記を公表し、犯罪被害者の実名公表な

# 長崎倶楽部

どについて「判断は報道機関でされるべき」などの考えを示した。

**▼新西海橋が開通**

佐世保市と西海市を結ぶ「新西海橋」が五日開通。全長六百二十㍍。約半世紀前にできた西海橋とともに、二つのアーチ橋が針尾瀬戸に並んだ。交通アクセスの向上だけでなく、佐世保の新名所として観光振興への期待も大きい。

**▼初の「長崎検定」**

長崎の歴史や文化、観光などに関する「長崎通」の育成を目指す「長崎歴史文化観光検定」（長崎検定、長崎商工会議所主催）の初めての試験が五日、長崎大であり、計千八百八十四人が挑戦した。

**▼長与町に巨大商業施設計画**

スーパー大手のイオンと三菱商事が出資するデベロッパーの「ダイヤモンドシティ」（本社東京）が西彼長与町の農地などを開発し、県内最大級の大型ショッピングセンターの出店計画を進めていることが八日、分かった。早ければ二〇〇八年秋にもオープンの予定。

**▼二〇〇八年春に複合商業施設**

長崎自動車（本社長崎市）は十五日、同市茂里町の営業所周辺を再開発し、地上八階、地下一階の複合商業施設を建設すると発表。目玉は高さ七十㍍の大観覧車。秋に着工、二〇〇八年春にオープン予定。

**▼「世界最大」登り窯をギネスに申請**

全長約百七十㍍と確認された東彼波佐見町中尾郷の「大新（おおしん）登り窯」に正式に「世界最大」のお墨付きを得ようと、波佐見町教委がギネスブックへの記載申請を検討していることを二十日、同町の岩永町長が明らかにした。

**▼南島原市など発足**

島原半島南部の南高来郡八町（深江、布津、有家、西有家、北有馬、南有馬、口之津、加津佐）の合併による「南島原市」と、佐世保市と旧北松宇久、小佐々両町による新「佐世保市」が三十一日発足。二〇〇四年から始まった「平成の大合併」で、長崎県内の市町村はもとの八市七十町一村から十三市十町に再編された。

**（四月）**

**▼「出島」に新たに五棟復元**

鎖国時代に海外交流の窓口だった国史跡「出島和蘭商館跡」で長崎市が進めている出島復元事業の第二期整備が完成。オランダ商館長の住まいだった「カピタン部屋」など建造物が一日から一般公開された。

**▼清峰高がセンバツ準優勝**

第七十八回選抜高校野球大会で初出場の清峰高（佐々町、旧北松南高）が春・夏の甲子園を通じて長崎県勢で初めて決勝に進出。四日の決勝戦では横浜（神奈川）に二―一〇で敗れたが、見事準優勝に輝いた。

**▼反核座り込み三百回**

県原水禁と県平和運動センターが毎月九日に続けている「反核9の日座り込み」が九日、一九七九年三月の開始以来、通算三百回になった。長崎市松山町の平和祈念像前には普段の四倍近い約二百人が集まり、核兵器廃絶の誓いを新たにした。

**▼富永直樹氏が死去**

「クリスマス・イブ」などの作品で知られる長崎市出身の彫刻家で、文化勲章受章者の富永直樹氏が十一日、虚血性心不全のため東京都内の自宅で死去した。九十二歳だった。

**▼佐賀県鹿島市長に桑原氏五選**

九州新幹線長崎ルート着工問題が最大の争点になった佐賀県鹿島市長選が十六日、投開票され、建設反対派で現職の桑原允彦氏が五選を果たした。

**▼帆船まつりにぎわう**

長崎港のゴールデンウイーク恒例行事となった「長崎帆船まつり」が二十七日開幕。五日間の会期中、過去最高の約二十九万人が会場を訪れた。

**（五月）**

**▼原爆資料館の入館者が微増**

長崎市は二日、長崎原爆資料館（平野町）の二〇〇五年度の入館者数が約六十九万三千九百人で、一九九六年の開館以来初めて前年度の入館者数を上回った、と発表した。被爆六十年で原爆への関心が高まったことが要因とみられる。

**▼県内の子ども二十一万人**

県は五日の「こどもの日」に合わせて県内の子どもの数を公表。十五歳未満の人口は約二十一万三千人で、前年同期に比べ約五千人減少、過去最低を更新した。

**▼南島原市長に松島氏**

島原半島南東部八町の合併で誕生した南島原市の市長選、市議選が十四日、投開票。市長選は、無所属で元県議の松島世佳氏が対立候補をわずか七十九票差で破り、初代市長に選ばれた。

**▼売上金三千万円強奪**

十五日正午ごろ、西彼時津町の量販店で、集金に来た銀行関連会社の男性社員が通用口で待ち伏せしていた男に襲われ、現金約三千万円入りの手提げバッグを奪われた。

**▼「原爆戦災誌」を改訂**

長崎原爆の被害を膨大な資料と証言で記録した長崎市の「長崎原爆戦災誌」総説編（第一巻）の改訂版が完成した。「当初の原爆投下指定地が市中心部を流れる中島川の賑橋付近だった」ことなど一九七七年の刊行後に判明した事実を追加、内容を修正した。

**▼下田が幕下全勝優勝**

大相撲夏場所で幕下十五枚目格付け出しでデビューした下田圭将＝島原市出身、追手風部屋＝が十九日、七戦全勝で優勝した。下田は日大出身で昨年の学生横綱。

**▼米原子力空母が佐世保入港**

米海軍のニミッツ級原子力空母エーブラハム・リンカーンが二十五日、西太平洋での作戦行動の途中、米海軍基地のある佐世保に寄港した。米原子力空母の佐世保寄港は通算七回目。

**（六月）**

**▼普賢岳災害から十五年**

雲仙・普賢岳噴火災害で、四十三人の死者・行方不明者が出た一九九一年六月の大火砕流惨事から十五年を迎えた三日、被災地の島原市で、五年ぶりに市主催の犠牲者追悼式が営まれた。

**▼長崎新幹線の着工目指し大会**

県内の経済団体でつくる「九州新幹線西九州ルートを実現させる会」（松藤悟会長）は十二日、長崎市内で県民大会を開き、佐賀県の関係者を含めた約千二百人の出席者が「一日も早い着工を」と気勢を上げた。

**▼在外被爆者訴訟で最高裁判決**

日本からの出国を理由に、被爆者援護法に基づく健康管理手当の支給を打ち切られたのは不当として、長崎で被爆した韓国人元徴用工の李康寧さんと、長崎市の被爆者で元高校教諭の広瀬方人さんがそれぞれ起こした裁判の上告審で、最高裁第三小法廷は十三日、「手当の支給義務を負うのは、国ではなく地方自治体」とする国側の主張を認め、李さん、広瀬さんの国に対する請求を棄却した。

**▼県議会定数四十六に**

県議会の議員定数等調査特別委員会は二十三日、議員の条例定数を現行の五十一から四十六に削減する方針を決めた。来年四月の改選から適用する。

**▼語り部の「政治的発言」自粛要請を撤回**

長崎市の長崎平和推進協会は二十四日、修学旅行生などを対象とする被爆体験の講話で、憲法改正や自衛隊のイラク派遣、靖国神社参拝問題のような「政治的発言」を慎むよう、協会所属の被爆者に求めた文書を撤回することを決めた。文書は「被爆者個人の発言を規制するのはおかしい」などと県内外で論議を呼んでいた。

ESSAY

# 私と長崎

第二回

## 大久保三郎（佐世保市）

### ダイヤモンド・プリンセス号 乗船へのお誘い

―クルージング乗船の素晴らしさ

私は、三菱重工業に入社後、長崎造船所に配属され、四年間勤務しました

その後、東京本社に転勤となり、長年の勤務を終え、昨年、定年退職しました。

私の定年退職記念に、クラブツーリズムのメキシカンリビエラクルーズに参加し、ダイヤモンド・プリンセスに乗船しました。

クルージングの楽しさ、素晴らしさは、ダイヤモンド・プリンセスに実際に乗船して体験しないと絶対に味わえない感動と価値を皆様にお伝えし、また、乗船に際し、少しでも皆様のお役に立てばと思います。

**(1) ダイヤモンド・プリンセスと私―三菱重工長崎造船所で建造の秘話について**

**私が、ダイヤモンド・プリンセスにどうして乗船したかったのか!**

ダイヤモンド・プリンセスとサファイア・プリンセスの二隻の姉妹船は、二〇〇〇年二月二五日に、当時イギリスのP&O社と建造契約しました。建造期間三十六ヶ月を費やして、二〇〇四年五月二七日に引き渡されました。日本で建造した最大規模（十一万六千トン）の超豪華客船で、三菱重工長崎造船所で建造されました。三菱重工長崎造船所は、一八五七年（安政四年）に幕府が長崎市の飽の浦に建設し、その後、約百四十八年間、その時代、時代に必要とされる色々な船を建造しています。古くは、一八九八年（明治三一年）にわが国最初の近代的な大型貨客船常陸丸（六千二百トン）や一九二九年（昭和四年）に豪華客船の浅間丸を、昭和時代に戦艦霧島、土佐、武蔵などを建造しました。戦後は、数多くの超大型タンカー（四十万トン以上）を建造し、近年には、飛鳥、クリスタルハーモニー（飛鳥Ⅱ）など超豪華客船を建造しています。

二〇〇二年十月ダイヤモンド号を建造中、四階で溶接作業中に火花で炎上し、三十六時間におよぶ火災事故を起して、船体の約四〇％が焼損してしまいました。地元のテレビは燃えるダイヤモンド号を刻々と中継し、地元の人たちも大変心配され、テレビ中継を見守ったと聞きました。社内でも当時の西岡社長が長崎造船所の全所員を相手に、船は燃えても三菱の技術は燃えていないと三菱のメーカー魂を発揮するように鼓舞し、大掛かりな改修作業も奇跡の十一ヶ月という短期間で完全に復活させました。技術職員は、船を引き渡すまでは汚さぬよう靴を履かずに修復作業にあたりました。二〇〇四年五月に名前をサファイア・プリンセスと変更して再び進水しました。因みに、改修費用は三百億円を超えました。この事故は、私にとっても、心を痛める事故で、在職中二度ほど長崎造船所へ出向き、関係者を陣中見舞しました。

三菱重工長崎造船所始まって以来の大事故を克服し、船出の暁には、是非とも乗船したい気持ちが募り、完成を千秋のおもいで待っていました。

二〇〇五年の三月に永年の三菱重工社員を卒業する私は、ダイヤモンド・プリンセスに乗って自分の人生第二幕へ向けて船出するぞと決めていましたら、以心伝心とでも申しましょうか二〇〇四年七月クラブツーリズム日経新聞夕刊広告にダイヤモンド・プリンセスのメキシカンクルーズの記事が目に留まり、帝国ホテルでの説明会へ費用を持参で出かけ、即決にて十一月のクルージングに参加することを決めた次第です。

**(2) 憧れのダイヤモンド・プリンセスにいよいよ乗船です**

二〇〇四年十一月十三日、成田空港から一路ロサンゼルス空港へ早朝に到着。

バスに乗り換えて、午後二時ごろまでサンタモニカ・マリナデルレイなどを市内観光いたしました。いよいよ紺碧のロサンゼルス港に到着、悠然と浮かんだ白亜のダイアモンド・プリンスとは長崎港で一年前に会って以来の再会です。私にとっては孫の顔を見るごとく、涙が溢れて感激の一瞬でした。

ダイヤモンド・プリンセスは、全長二九〇m（池袋駅の西武デパートとパルコよりもまだ七〇m長い）、最も広い船幅は五〇m、速力二十二ノット（時速四〇㎞）、高さは六二m（二十階建てのビル相当）。試運転航海で横浜港に入港するとき、横浜ベイブリッジの高さは六五mで船のマストと橋脚の間が三m、やっとの思いで通過したそうです。

乗客は二九二五名、乗員が一一二八名、合計四〇五三名が乗船しました。客室は一三三九室です。七二%の九六四室が海側の客室で、七八%の七五二室が専用のバルコニーが付いています。

是非、バルコニー付きのお部屋をお勧めします。

世界三十四カ国のお客さんが乗船しました。乗船手続きと旅券、ビザの査証などで二~三時間かかりました。お客様は、乗船する際にカードを貰います。このカードは船内でのクレジットカードとなり、部屋のカギにもなります。

**(3) クルージングの素晴らしさを皆様に是非お伝えしたい。**

毎朝、部屋の入口の〒ボック

# 長崎倶楽部



スに船内新聞（日本語）が配達されます。起床されたら必ず目を通し、大切なお知らせやその日の催し物をチェックし、毎日をenjoyして下さい。船内の施設を紹介します。まず、ダイニングレストランは五・六・七階にあります。イタリアン、ステーキハウス、メキシコ、アジアなどで一応セミフォーマルな服装となり予約が必要でした。

カフェテリアスタイルの食堂は二十四時間営業です。船上十四階で見晴らしもよく、フォーマルな料理に飽いた人は、軽装で気軽に食事ができます。

夕食後八時からはシアターで、ラスベガススタイルのショウやマジック、映画などが毎夜、上演されます。

エクスプローララウンジでは好きな曲に合わせてダンスもできます。チャペルや一人静かに過ごせるバーなどもありました。

ラスベガススタイルのカジノもあり、二〇〇台を超えるスロットマシーンやルーレット等があり、福島から参加されたかたが二〇〇〇ドル儲けたそうです。

数多くの絵画が展示されていて、有名選手の品物、ゴルフのタイガーウッズやバスケットのマイケルジョウダンなどのオークション品が展示され販売されていました。オークションに参加するために乗船されている人もいるそうです。

フォトショップではスタッフカメラマンが適宜、撮影したスナップが掲示され、購入可能です。

店内ストアーでは日用品、お土産品も販売しています。航海の終わり頃にはバーゲンセールがあります。コインランドリー、アイロン等いろんな設備が用意されています。

屋外の施設でプールは七ヶ所も完備され、プールの水はいつも満水状態です。メインプールのプールサイドにはバーやアイスクリームスタンド等があり、日光浴を楽しめました。フロアスタッフが二十四時間、サポートしてくれます。片付け、タオル交換などフレンドリーに対応してもらいました。なにしろ、乗客三名に一人のスタッフがサポートするシステムです。

クアハウス、サウナ、マッサージ室、ビューティーサロンなどがあります。ゴルフ場もあり、貸しクラブでラウンドできます。周回二〇〇mのジョギングトラックやバスケット・テニスができる多目的コートもあります。

クラブツーリズムさんの計らいで厨房見学は、コック長さん直々に案内をしてもらいました。ダイニングは一ヶ所に纏められており、イタリアンからアジアンまで美味しい料理が流れ作業で作られていました。何しろ、乗員四〇〇〇名が飲食する巨大な厨房です。衛生面は特に厳しく管理されており、厨房のメンテナンスを五十人のスタッフでピカピカになるまで磨いていました。

たまたま三菱重工長崎造船所の田村技師が保証技師として乗船しており、彼の案内で操舵室を見学することができました。飛行機のコックピット同様のハイテク技術、コンピューターで三六〇度、一Km以内はイルカ、鯨などもキャッチし、自動予測運行をするそうです。航海士と助手のたった二人でこの巨大な超豪華船を操縦していました。粋な計らいで船長さんの操縦席に座り、航海士さんと記念写真を撮ることができました。

アトリュームはホテルのロビーに相当する場所です。船長さん主催のウェルカムパーティーや、帰港前日の夜、十一時から真夜中に開催されるパーティなどが開催されます。是非、スケジュールに入れて、ドレスアップして楽しんで下さい。必見です。

**(4) クルージングの楽しさ・素晴らしさは乗船しないと**

クルージング途中、寄港都市では、オプショナルの異国情緒を味合える都市めぐり観光なども用意されています。プエルトバジャルタ、カボ・サン・ルーカスやマサトランなど紺碧の海と陽光あふれるビーチリゾートで名物料理など味わうことができました。クルージングではお客が飽きることがないような気配りのスケジュールが組まれていました。

――スタッフの（朝、昼、夜）心配りによるもてなしで抜群の癒し効果です。

――二十四時間、王子様・お姫様になった気分で過ごすことができます。食事の準備・お風呂の準備・後片付けなど何も心配いりません。


花山（かざん）

03-3581-3831

地階：日本料理　花　山
1階：珈琲茶房　サントス　TEL 03-3580-0232
9階：霞山会館（貸会議室・宴会場）　TEL 03-3581-4671
日本料理　花　山　第一ホテル東京店（新橋）　TEL 03-3597-9570
姉妹店／西洋料理　赤トンボ（虎ノ門）　TEL 03-3501-0416

各種ご宴会・ご会合・ご商談・クラス会など
お気軽にご利用ください。

〒100-0013　東京都千代田区霞が関3-2-4　霞山ビル　株式会社　花　山　林田和雄

## 第三十五回定時総会開催

五月二十六日、第三十五回定時総会が開催されました。

第一号議案　平成十七年度事業報告
第二号議案　平成十七年度収支決算（案）
第三号議案　平成十八年度事業計画（案）
第四号議案　平成十八年度収支予算（案）
第五号議案　規約改正（案）
第六号議案　役員改選（案）

上記議案が採択され、本年度の運営方針が決まりました。

規約改正の内容は、第十二条（役員）、理事二十名以内を二十五名以内に改正の一点です。

新任の役員は左記のとおりです。

副理事長　今泉　弘人
理　事　又野　寛、牧山　康敏、内堀　勝之

総会終了後、懇親会を行いました。



## 五島高等学校関東地区同窓会（東京石城会）の総会を開催

去る六月十日（土）、恒例の東京石城会総会および懇親会をホテルグランドパレスに来賓の方々を含め、総勢一六〇名を超える同窓生が集い、文武両道に躍進する母校の後輩達にエールを贈るとともにそれぞれに旧交を温めあった。

総会は内海会長の挨拶、全国石城会立本会長挨拶とつづき、新任の田川校長より、OBによる母校支援へのお礼、入試の結果を始め、在校生のあらゆる部門での躍進振りが報告された。更に八十才以上の出席者表彰では九十才を筆頭に十名の該当者に惜しみない拍手が贈られ、続く三位までが対象の出席者数優秀学年表彰は一～三位までが同数となり、ジャンケンでの決着が提案され、スタートより盛り上がった。幹事長による会務（決算）報告を終え、副幹事長の乾杯の発声で懇親会へと移った。




女性会員による「南京玉すだれ」が披露され、五島市長、内海会長を始めとする有志提供の景品の抽選会では今年も当選者の歓声と拍手に沸いた。懇親会のフィナーレは五島中学校、五島高等女学校、五島高等学校のそれぞれの校歌斉唱。出身校に関係なく「我れ先に」と登壇し、全会員が青春時代に戻って熱唱した。最後は斉藤副会長により「来年も元気でお逢いしましょう」の挨拶と万歳三唱で平成十八年度の総会の幕を閉じた。

幹事長　久保　祐二　昭和三十八年卒（五高十五回生）

## ローカル・スクール通信

**―全員一年間無欠席で卒業―**

去る六月十一日（日）に、日本出版クラブ会館にて開かれた平戸高校同窓会東京首都圏支部総会に、長崎から校長、川上同窓会副会長、山野ＰＴＡ会長の三名が出席しました。加藤支部会長さんをはじめ、出席者の皆様に本校に対するこれまでのご支援のお礼を述べるとともに、学校の現況報告をいたしました。




まず、平戸高校が十八年度を以って普通科から総合学科へ完全に改編されたことを報告いたしました。次に、今年の卒業生が、普通科最後の生徒として有終の美を飾ってくれたことを報告いたしました。学校の一般的な評価としては、例えば、全国大会に出場して、上位入賞を果たすと、マスコミをはじめ、こどあるたびに大きく紹介され、称賛されます。

その一方で、本校のような、全校の生徒数二百八十余の小さなローカル・スクールの三年生全員が一年間無欠席（しかも半数以上は三年間無欠席）で通し、全員無事卒業という快挙を達成しても、教育関係の集まり等で紹介されることはありません。私たちは、このことは学校教育の基本に置くべきことだと考えており、今回、同窓会の皆様に共感していただいたことは、校長として嬉しく思うとともに、自信を得ることができました。

最後に、学校運営方針の転換や学校を取り巻く諸課題への取り組みについて説明いたしました。

諸先輩から同窓会東京首都圏支部の設立時のご苦労をお聞きしますが、かって経験したサッカー全国大会応援の際のような取り組みを、今後とも同窓会、ＰＴＡ、学校の三者で手を取り合っていたしたいと心から思いつつ帰途についた次第です。

長崎県立平戸高等学校長　平賀　茂

## 長崎さるく博06好評開催中

四月一日から始まりましたイベントですが、ゴールデンウィーク期間中の「通さるく」への参加者は三一八八人で平均参加率一四七%、人気コースの「長崎は今日も異国だった(南山手界隈)」は定員二七〇人に対し六八五人の参加と大好評でした。期間中二八六本を予定していましたが、二十一本の増便となりました。参加者の内訳は市内四五%、市外五五%となっており、関東からも一七〇人が参加しました。

参加者からは「今日のように奥まで行ったのは初めてです。ガイドさんもとっても楽しく案内してくれました。近くに住んでいながら、こんなに楽しめるとは驚きです」また、県外からの参加者は「長崎の歴史・文化にふれ、まちの魅力をより深く知ることができました。とても参加しやすいガイドツアーなので、ぜひ、多くの皆さんにお奨めします」など、多くの皆さんが楽しんでいます。「長崎は知っとるばい」という人も、是非一度ご参加ください。きっと楽しめるはずです。期間は十月二十九日まで。

長崎市東京事務所



## 佐世保中学校東京同窓会

ぐずついた梅雨空がこの日ばかりは嘘のように晴れ上がって、明るい日差しが霞が関界隈にあふれていた。

六月二十四日、恒例の佐世保中学東京同窓会が、霞が関ビル三十三階の東海大学校友会館で開催された。高層ビルからの眺めは流石である。最高齢者は九十歳、最も若いメンバーでも七十歳を超えているが、続々と集ってくる本人たちは、マジに六十歳代のつもりである。

定刻十一時半、総会が始まった。佐世保中学は再来年、創立百周年を迎える。しかし旧制中学という性格上、後に続く者がおらず、やむなくこの機会に本部組織は解散するという。東京の場合とて事情は同じ、二年後の解散が了承された。時代の流れは誰にも止めることが出来ない。

引き続いて宴会に入る。始めは静かだった会場も、時間がたつにつれて、同期の仲間、ゴルフ仲間、テーブル仲間とフラッシュがあちこちでたかれた。歳を取れば取るほどたまさかに会う古い仲間との会話は楽しい。しかも青春時代を、あの厳しい戦争の最中に送った仲間同士である。母校の応援歌に乱舞する姿には、とても古希を遥かに超えた集団とは見えなかった。

それにしても皆さんはまだまだ若い。恒例の出身小学校校歌を、よどみなく合唱する無邪気な姿に会場からはヤンヤの喝采が送られ、午後三時、閉宴した。

会長　本川　眞澄

## 長崎びーどろ会「ハタ揚げ大会」

恒例の「ハタ揚げ大会」が四月二十九日(みどりの日)に開催されました。

今年は午後から天候が危ぶまれたためか、出足は順調で昨年より大勢の方にご参加いただきました。今回は、昨年に引き続き、五島会のバラモンの他、壱岐の雪舟会からも鬼凧(おんだこ)の応援参加を頂きました。

会場は毎年同じ所の、大田区多摩川緑地区民広場で行い、チャンポン、皿うどん、あごの一夜干し等その場で食べられるものから、郷土長崎から取り寄せた、かんぼこ、島原そうめん、うどん、チョーコー醤油各種等お土産品まで販売いたしました。

その他、長崎物語でお馴染みの、㈱唐草さまから「おたくさ」を、杵の川酒造さまから「もってこい」のご提供を頂き、参加者に振る舞われました。

余興で、京浜共同劇団の城谷さんによる腹話術(長工)には参加したちびっ子たちが大喜びで、腹話術の人形と一緒になりクイズに挑戦しておりました。

今年からハタの販売をセットから単品販売に変え、販売単価を下げたことにより、例年になく数多い揚がり具合でした。

午後から俄に天候が怪しくなり、二時過ぎには土砂降りの雨となり、蜘蛛の子を散らすように、皆さん二次会へ撤収してお帰りになりました。

次回は良い天気に恵まれますよう祈念しております。

ビードロ会副幹事長
小柳　哲敬







**長崎はいま、歴史が面白い！**

江戸・長崎の日蘭交流史話
「平成蘭学事始」
著者：片桐一男
四六判/1,890円(税込み)

三沢博昭写真集
「大いなる遺産長崎の教会」
著者：三沢博昭
A4版/3,800円

送料：2冊まで410円

株式会社智書房
〒112-0001　文京区白山5-2-5
TEL 03-5689-6711 Fax 03-5689-6721
http://www.tomojapan.com/



## 猶興館同窓会・東京支部総会

平成十八年度東京支部の総会・懇親会は五月二十日（土）「虎ノ門パストラルホテル」において開催され、猶興館高より久原巻二校長、同窓会本部から新会長の中野浩氏、松浦家・ご当主、松浦章氏、在京同窓会役員のご来賓者を含め二二五名の皆様に出席をいただきました。

地元平戸から取り寄せの物産販売は郷愁を誘うのか今年も人気を博し好評で又、開会前のひととき、「故郷の今昔」を、総会会場では「会務活動報告」のスライド映写には、出席の皆さんが熱心に見いっておられ、これも好評を得て総会当日、直前まで編集を担当した年次幹事の苦労が報われました。

今年は準備のための年次幹事会への出席人数が少なく、毎回同じ顔ぶれで内心先行きに一抹の不安を抱きましたが総会当日は平戸をはじめ各地からの応援者で総勢二十四名を数えさらに次年度幹事十名の応援で事なきをえてその心配が杞憂に終わり一安心でした。




アトラクションは昨年に続き平成九年卒業の末永京さん率いる「スパイシー」の皆さんによるエレクトーン演奏、歌で若い皆さんのパワーをもらい会場が大いに盛り上がり「中学猶興館」、「平戸高等女学校」、「猶興館高校」校歌と生演奏をバックにしての大合唱は毎年恒例の光景ながら歴史を感じさせられ又、来年の再会を誓って無事閉会となりました。

猶興館高校同窓会東京支部
幹事長　伊崎　満雄

## 県立壱岐高東京同窓会

「少年老い易く学成り難し　一瞬の光陰軽んずべからず」――

同窓会に出席するたびに、高校時代に学んだ、朱熹のこの漢詩を痛感する。一瞬一瞬を無為に過ごした若い頃の報いというべきか。

長崎県立壱岐高東京同窓会の第十五回総会が今年も去る七月一日、都内の霞ヶ関ビルで開かれた。出席者は例年に比べ若干少なかったものの、老若男女、それぞれ青春時代に思いを馳せて大いに賑わった。上は昭和二十二年旧制女学校出身者から下は平成十年卒まで、その年齢差は半世紀を遥かに越える。




しかし母校と古里・壱岐を共有する仲間の触れ合いは、いつも年代を超え、仕事を忘れて、歓談の輪となる楽しさがある。当日は壱岐特産の「麦焼酎」も存分に振舞われて、酔うほどに「壱州弁」も滑らかに、周りに臆せず飛び交う。これも同窓会・古里会の楽しさか。

アトラクションでは、壱岐高校第五十回卒で東京音楽大学で声楽を学び、オペラ歌手を目指す山川知美さんがクラシックや赤とんぼなど数曲を熱唱。その艶やかで心に滲みる歌唱力に会場もシーンとして、うっとり。

母校・古里を遠く離れ、皆が「島育ち」の同窓生たち、時の過ぎるのも忘れて真夏の「一瞬の光陰」を思い切り満喫した。

第九回卒　牧山　康敏

## 第三十四回長崎東高在京同窓会開催

「なつかしか長崎！　長崎がたくさん待っとっと」を合い言葉に、今年も長崎東高在京同窓会を開催しました。六月二十四日（土）、水天宮のロイヤルパークホテルに恩師・ご来賓の方々、他校同窓会代表の皆さんにもご出席いただき、約二五〇人が集まりました。丁度一週間前に地元長崎でも東高同窓会総会が開かれたばかりでしたが、東高の松尾教頭先生や波多野副会長など長崎からも出席していただきました。




今年は順番ですと三十六回生が当番幹事なのですが、二十一回生が二度目の当番幹事を引き受けてくれました。世代を越えてタテ・ヨコの絆を育むには、やはり日常的なつながりが大切と痛感しています。そこで始めたのがクラブ活動。今年の総会では東龍倶楽部の龍踊りに加えて東風アンサンブルのコーラスが登場しました。東龍倶楽部は昨年が初登場。去年に比べると「うもうなったばい」の声も。今年は女性陣による「赤龍」?が出現。観客から思わず歓声が上がりました。東風アンサンブルはまだ人数が少ないものの、なかなかの本格派。いずれも来年が更に楽しみです。

長崎から沢山の差し入れを頂き、ジャンケンに勝った幸運な人にも、負けた人にもお土産が付き、わずか二時間の短いひと時でしたが元気で来年の再開を誓い合いました。

会長　田平　和彦

## 佐世保南高東京同窓会（東京柏葉会）第十六回総会

東京柏葉会十六回総会を七月八日（土）に目白台の椿山荘で開催しました。

総会に先立ち、恒例の同窓生による講演会が催され、今年は厚生保護法人東京保護観察協会「敬和園」にお勤めでの石上美知代さん（十八回生）による『よるも昼も立ち直りを信じて』のテーマで約一時間の講演が行われました。今回は初めての女性講師を迎え、不幸にして罪を犯した青少年達の社会復帰への援護に昼夜ご苦労されている貴重な体験話しをしていただきました。




今回は故郷佐世保からも梶山直行柏葉会会長及び藤原善行校長をはじめ南高在学中大変お世話になりご指導頂いた恩師、宮崎友千代先生、近藤昭忠先生、松尾善久先生及び江口眞佐子先生、他多数の来賓の参列をいただくと共に、同郷の高校で在京同窓会の代表の方々にも多数参列いただき、総勢約二五〇名の参加で大々的に総会が開催されました。

まず吉田牧男会長の挨拶で始まり、今村幹事長より会務報告、及び松本会計担当者からの会計報告等がありそれぞれの議案は満場一致で承認されました。

次に来賓を代表して、梶山直行柏葉会会長及び藤原善行校長及び光武顕佐世保市長のご挨拶（代読）をいただき、引き続き故郷佐世保よりわざわざお出かけ頂いた恩師の皆さんの紹介が行われました。今年も原田永幸副会長（十九回生）の乾杯の音頭で総会を締め懇親会に入りました。

懇親会に於いては、まず関東地区以遠から参加いただいた同窓の皆さんの紹介、また懐かしくお元気な恩師の皆さんからそれぞれご挨拶をいただき、特に今年は初めて女性の恩師の出席を頂き華やかさが加わり雰囲気が大変盛り上がりました。

また恒例のダンスタイムでは、平伊佐夫氏（二十三回生）の歌にあわせ、岩崎悦子さん（十二回生）の振り付けによる本邦初公演「佐世保ハンバーガーソングのダンス」を披露した後、皆で踊り大いに盛り上がりました。

最後に、今年還暦を迎えた十六回生全員が壇上に上がり、全員で声高らかに応援歌を歌った後松尾善久先生（三十八回生）のエールで気勢を上げ、再会を誓って第十六回総会を閉会しました。

馬場　徹也（十二回生）

## 長商同窓会東京支部同窓会総会

平成十八年定例同窓会総会は、五月二十日（土）緑葉映える皇居を一望に、東京会館東商スカイルームで、開催しました。

長崎県人クラブ・各在京高校同窓会幹事・長崎市東京事務所・長崎より長崎商業高等学校五島校長・渡邊・三浦同窓会本部副会長他多くの来賓をお迎えして九十余名が出席し、国歌斉唱を合図に、厳粛な中に開会致しました。

今回は、昨年創立百二十周年の記念式典を終え、長崎に出席できなかった同窓生の為にも、特別な同窓会総会の意識付もあり、学校の成り立ち、同窓会の意義、先賢諸氏の功績を前史である「英語伝習所」（安政五年）「広運館」（明治元年）区立（明治十八年）公立（明治十九年）、旧制・新制へと各年次別に披露し、伝統ある歴史・先賢の恩に報いた総会・同窓会とさせていただきました。




当日は、輝かしい伝統を顧みながら、旧交を暖め合い、旧制・新制校歌斉唱、万歳三唱で閉会としました。

他校にない〝長商スピリッツ〟は、その活発な各地・各界でそれぞれにリーダーシップを発揮され、先賢の恩に報いることを約して散会しました。

東京支部長　福本　吉郎

## 新刊紹介

### 「旅する長崎学」創刊

**第1シリーズ：キリシタン文化編**
**1号：長崎で「ザビエル」を探す**
**2号：長崎発ローマ行き、天正の旅**

◆長崎県企画
◆監修：五野井隆史、片岡瑠美子、デ・ルカ・レンゾ
◆編集・販売：長崎文献社
◆体裁：A5判、64ページ、フルカラー、並製
◆定価：640円（税込み）



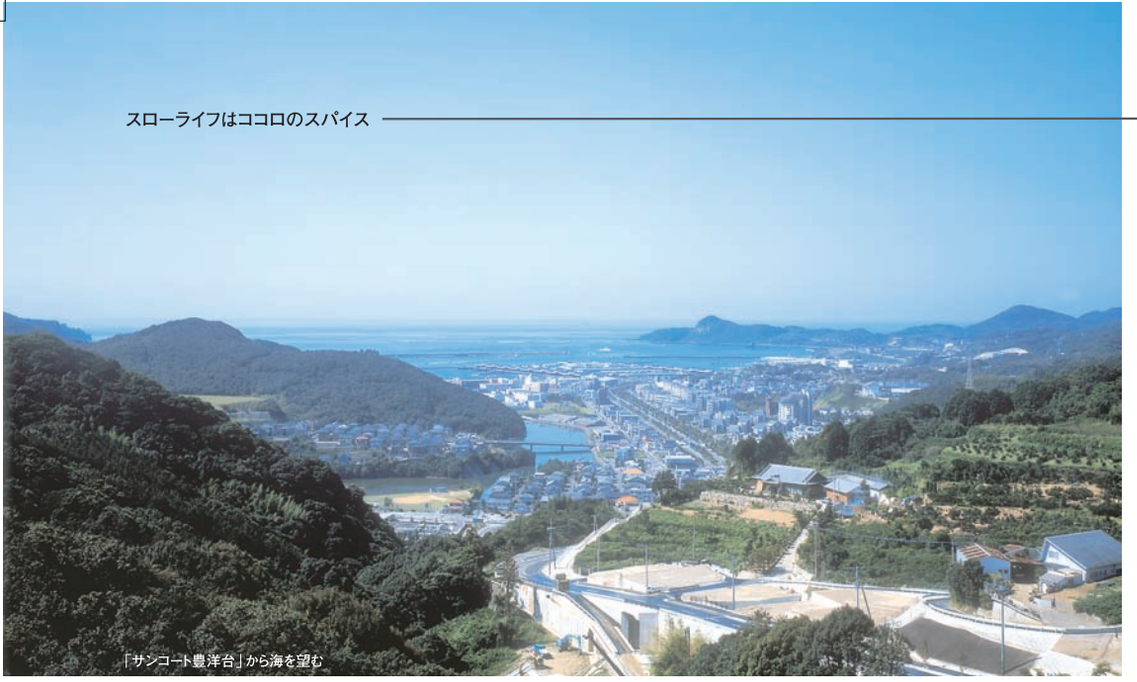




一、二号が同時刊行され、好評発売中の新型旅行ガイド。長崎県は観光立県ながら、客足が減少傾向にあることを重視し、長崎の魅力をガイドブックにして全国発信して、長崎への旅を誘おうとして、この企画を積極的に進めている。

刊行された2冊は画像、写真、地図などがカラーで全ページを埋めており、わかりやすく、読んだ人は思わず、長崎へ旅したくなるような編集の工夫がこらされている。四谷駅前のサン・パウロ書店などで販売中。ぜひ

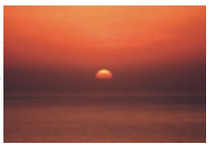
スローライフはココロのスパイス


「サンコート豊洋台」から海を望む

# 田舎と都市の両方を満喫できる新しいライフスタイル。

数年後には定年を迎える団塊世代。
リタイア後の「円熟人生」。
どこで暮らすかが重要なテーマになってくる。


「サンコート豊洋台」から海を望む新長崎漁港と花火


海に沈む夕陽は絶景

## 時代的にも田舎育ちが多い団塊世代

先日、長崎市にある「サンコート豊洋台」を訪問する機会があった。オーシャンビューの高台にある全930戸の大型団地だ。ここから長崎都心部まで18kmで、田舎も街も味わえる絶好の地の利である。目の前には森林浴もできるこんもりとした森、海に沈んでいく夕陽、その後下方に現れる港町の夜景・・・高台から見おろす風景が素晴らしい。

日常は無農薬の野菜づくりや趣味ざんまいのカントリーライフ。週末は夫婦一緒に長崎都心部でコンサートを楽しむアーバンライフ。こんな多様な生活シーンを実現してくれる、新しい暮らしの可能性が浮かんでくる。この「サンコート豊洋台」のようなライフスタイルの提案は、この時代にピッタリのコンセプトではないだろうか。

## 「自然が友達だったあの日に帰りたい・・」



「自然が友達だった頃に帰りたい」との憧れで田舎に移住しました。田舎暮らし志向は決して後ろ向きのレトロではありません。単にノスタルジーということではなく、団塊世代を含めた都市生活者の人生を、もう一度ワクワクしたものにするためのライフスタイルではないかと思っています。


堀江 康敬氏 1947年生まれ・59歳
1995年に、長崎県川棚町に移住。
電子メール・ファックス・宅急便を使ってSOHO事業者として活躍中。
田舎の企画室*アステリスク
http://asterisk-web.com/





## Column 団塊世代が憧れる「田舎暮らし」という生き方

定年退職を間近に控えた団塊世代を対象にしたアンケートで、約23.2%の人が60歳を過ぎてから「田舎暮らし」や「田舎と都会の行き来」をしてみたいと挙げています。都市の喧噪を離れ、めまぐるしいビジネスの世界から離れて、田舎でゆっくりとした時間を味わいたい人は意外と多いようです。

**60歳を過ぎてからの人生で、やってみたいこと**

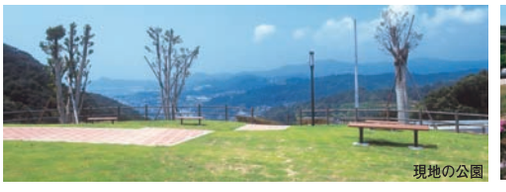
| | | | |
|---|---|---|---|
| 国内外への旅行 | 68.4% | 田舎暮らし・田舎と都会の行き来 | 23.2% |
| 自然散策・ハイキング・まち歩き | 38.8% | 海外長期滞在 | 23.0% |
| ボランティア活動 | 26.8% | 新しい人間関係・友人づくり | 20.8% |
| スポーツ・体づくり | 26.0% | 地域活動 | 20.6% |
| 映画鑑賞 | 24.0% | 家づくり(家の手直しや庭づくり | 19.8% |

（2005年8月・大手シンクタンク調べ）


「堀江氏の自宅の庭」海を眺めるくつろぎの空間が時にはそのままオフィスになる


海と風が光る街
SunCourtHoyodai
サンコート豊洋台










**東亜地所は東亜建設工業の100%出資会社です。**
東亜建設工業は1908年（明治41年）神奈川県鶴見に港湾機能を持つ工業用地を造成するために誕生。創業者の浅野総一郎氏が安田善次郎・渋沢栄一両氏の支援・協力を得て、鶴見・川崎間の150万坪の埋立事業を1928年（昭和3年）に完成させました。陸上での建設事業にも着手し、総合建設業として大きく成長しました。これまでの100年近くにわたって磨き上げた技術は港湾・漁港、道路建設や土地造成、上下水道施設など、生活基盤の整備を現地の人々と共に進めています。

国土交通大臣（5）第3938号　東亜建設工業（東証一部上場）グループ
東亜地所株式会社
本社／〒102-8451 東京都千代田区四番町5番地 TEL:03-3264-7740（代）

「サンコート豊洋台」東京事務局
0120 FreeDial 0120-358-885
E-mail: info@choei-rd.com
http://www.sun-court.com/